

組合だより

JA

お・か・い・く

第16回 全日本ホルスタイン共進会 北海道大会
16TH ALL JAPAN HOLSTEIN GRAND PRIX IN HOKKAIDO

スゴいぞ!
牛乳

2025
11

vol.281

令和7年11月13日発行
発行所：おみやげ乳産農協
〒050-0832 札幌市中央区南一条西五丁目1番1号
電話：011-261-1101



ジヤージー種優等賞首席に輝いた丸山昭博さんの愛牛と

北海道全共

ジャージー種第18部優等賞首席 第19部優等賞三席

真庭市 丸山昭博さん

ホルスタイン種第8部優等賞八席

笠岡市 (株)Farm Luckyhon

第16回全日本ホルスタイン共進会
北海道大会が北海道勇払郡安平町の
ホルスタイン共進会場で、10月25日
から26日までの2日間の日程で開催
されました。全国各地からホルスタ
イン種368頭、ジャージー種32
頭、合計400頭が予選を勝ち抜い
て出場しました。岡山県からの出品
牛はホルスタイン種6頭（未經産3
頭、経産牛3頭）ジャージー種5頭
（未經産2頭、経産牛3頭）の計11
頭の出場となりました。

ING ルーシー」が第8部 優等
賞八席に輝きました。

中から北海道の木村吉里さんの愛牛
「サニーウエイ アストロ マツカ
チエン」が日本一に輝きました。

丸となり、目立ったケガや病気等も
なく最後まで無事に共進会を終える
ことができました。また、チーム全
員の頑張りや飼養管理技術、出品技
術の高さ、チームワークが今回の成
績に繋がったのだと思います。

前回開催の第14回から10年ぶりの
開催となりましたが（第15回はコロ
ナ禍の影響で中止）、今大会も素晴
らしい成績でありました。主な成績
は、ホルスタインでは第1部で（公
財）中国四国酪農大学の愛牛が一
等五席、第6部で（有）長恒牧場の愛牛
が一等四席、第9部で吉原直樹さん
の愛牛が一等四席、第13部で妹尾優
佳さんの愛牛が一等四席。ジャー
ジーでは第18部で美甘正平さんの愛
牛が一等一席、第19部で（公財）中
国四国酪農大学の愛牛が一等三席
でありました。

全国高校生リードマンコンテスト
には岡山県立高松農業高等学校から
4名出場され、高校3年生の部で小
原杏弥さんが入賞されました。

最後に北海道全共で頑張ったこ
られた出品者の皆様、牛舎でサポー
トしていただいた支援者の皆様をは
じめ、ご指導いただいた関係機
関の方々に深く感謝申し上げます。

また、ホルスタイン種について
は、笠岡市 (株)Farm Luckyhonの
愛牛「ラツキーホン クリーム K

今回の北海道全共の最高位賞はホ
ルスタイン種の部（1部～16部）と
ジャージー種の部（17部～20部）の

北海道大会では輸送中の搾乳が必
要でしたが、出発前の入念な準備の
お陰もあり、最終的には1時間もか
からない程に手早く完了しました。

皆さんのチームワークに驚きまし
た。共進会場では7日間の長丁場で
疲れも積もる中、出品者・支援者一

また、ジャージー種について、真庭市
丸山昭博さんの愛牛「SRJ コン
ツアー バラナ」が第18部 優等賞
首席に輝きました。

5年後の全共に向けても、改めて
チーム岡山で頑張っていたきたい
と思います。

（事務局）



岡山県立高松農業高等学校の生徒さん



(公財)中国四国酪農大学の生徒さん



審査会場

第80回岡山県畜産共進会和牛審査および 褒賞贈呈式

10月11日、第80回岡山県畜産共進会和牛審査および褒賞贈呈式が開催されました。過ごしやすい気候の中、また、雨に降られることもなく行われました。

今年は、乳牛の審査が第16回ホルスタイン共進会に向けての選抜を兼ねたため、9月26日に行われ、褒賞贈呈式には、表彰者のみの参加となりました。

乳用種雄牛の部のグランドチャンピオンには岡山市 妹尾優佳さん出品 ヒールクレスト フューエルスノー号が選ばれました。雌らしい骨質と品位ある牛で、乳頭の配置・サイズ、後乳房に優れているとの評価を受けました。

ジャージーチャンピオンの真庭市(有)万庭牧場出品 クイックシルバージヨードン フラウ号とともに表彰されました。また、団体優勝は岡山市となり、岡山県優勝旗が授与されました。

畜産功労者表彰は、おからく組合員では真庭市の三浦一敏さんが表彰されました。獣医師として専門知識を生かし、地域酪農組合長として研修会の開催な

どにより農家の経営改善に尽力し、地域酪農業の発展に寄与したことが評価され、知事感謝状が贈呈されました。

今年の開催は、和牛と乳牛の審査が別々に行われたため、牛の数が少なく、少し静かな大会ではありましたが、来賓の方々も多数お越しになられ、活気あるものとなりました。畜産業発展のためには欠かせない行事であり、関係機関一丸となって盛り上げていけるよう今後も引き続き取り組んでまいります。

(生産支援課)



表彰を受ける妹尾優佳さん



上期実績の報告について

本年度、全国の上半期生乳生産は、猛暑の影響を受けたにもかかわらず346万3,855t、前年比で101.3%の増産となりました。8月から飲用乳価キロ4円引き

上げに伴い、小売価格が牛乳1ℓ当たり10円、20円程度上がり、消費は冷え込んでいましたが、前年比では微減にとどまっています。一方で生乳生産が増産となっており脱粉、

バターの加工向けが増え、前年比106.4%、特に脱粉の過剰は深刻となりつつあります。

全国の酪農家戸数は、乳価値上げもあり経営状況に改善が見られますが、後継者難も加わり、8月段階で9,500戸の万台を割り込みました。

本組合の生乳生産は上期4戸の廃業があったものの、4万5,405t、前年比100.2%、計画比103.1%で推移しています。

一方で、酷暑から長引く残暑の影響もあり、本組合の衛生的乳質適合率は低下しており、向上改善に向け乳質改善への取り組みが急務と実感しています。

下期に向けて今年度事業計画
○生乳生産量 89,000t

○購買取扱数量 59,300t
○流通取扱数量 7,900頭

の達成に向けて、組合員の皆様のご協力のもと役員一丸となり事業展開を進めてまいります。

以下に上期の事業実績の概要を報告いたします

1. 販売事業

生乳取扱計画数量は、89,000tに対し、上期実績は4万5,405t(進捗率51.0%)となりました。

生乳販売高は、補給金を含め62億9,919万円でした。基本乳価は、8月の乳価値上げのため昨上期と比較して1.27円増となりました。

年間利益計画3億8,783万円に対し、2億300万円(計画比52.3%)となりました。

2. 購買事業

購買取扱計画数量は、5万9,300t、供給高45億円に対し、上期実績は数量で2万9,577t(計画比49.5%)と減少し、供給高は22億2,523万円(計画比49.4%)となりました。

利益は年間計画の7,519万円に対し、棚卸資産が大きく減少し

令和7年度上期事業実績

(単位：円、※は税引前当期利益)

	収 益	費 用	利 益	損益年間計画	計画比(%)
販 売 事 業	572,975,398	369,975,871	202,999,527	387,833,000	52.3
購 買 事 業	2,270,832,600	2,244,270,283	26,562,317	75,185,000	35.3
乳 牛 流 通 事 業	1,165,038,575	1,151,831,011	13,207,564	18,206,000	72.5
育 成 牧 場 事 業	7,384,028	7,078,249	305,779	544,000	56.2
生 産 支 援 事 業	50,214,180	47,459,461	2,754,719	△ 134,000	△ 2,055.8
酪 農 ヘ ル パ ー 事 業	43,240,800	39,566,879	3,673,921	100,000	3,673.9
改 良 登 録 事 業	3,245,873	2,338,691	907,182	2,662,000	34.1
凍 結 精 液 事 業	36,544,770	34,484,160	2,060,610	5,644,000	36.5
牛 群 検 定 事 業	12,427,250	11,754,946	672,304	8,000	8,403.8
診 療 事 業	42,791,565	34,362,323	8,429,242	16,926,200	49.8
受 精 卵 移 植 事 業	7,757,026	5,913,550	1,843,476	4,680,000	39.4
事 業 管 理 費		234,467,598	△ 234,467,598	△ 486,824,200	48.2
そ の 他	27,607,516	10,972,849	16,634,667	15,800,000	105.3
合 計	4,240,059,581	4,194,475,871	※ 45,583,710	※ 40,630,000	112.2

たことから2,656万円（計画比35・3％）となりました。
さらなる組合の飼料・資材のご利用をお願いします。

3. 流通・育成牧場事業

流通取扱計画頭数7,900頭、金額20億2,095万円に対し、頭数は3,811頭（計画比48・2％）、金額で11億6,504万円（計画比57・6％）となりました。年間利益計画1,821万円に対し1,321万円（計画比72・5％）となりました。
育成牧場事業は、年間利益計画54万円に対し、31万円（計画比56・2％）となりました。

4. 生産支援事業

生産支援事業収入の主体は、戸数割・乳量割賦課金となります。これに営農改善事業収入を含めた上期収入合計は、5,021万円（計画比38・4％）となりました。

費用としては、各活動組織への助成や負担金などの組織活動費が486万円（計画比74・0％）となりました。

営農改善事業費は4,003万円、うち乳質改善費219万円、自家生産牛助成329万円、ヘルパー事業対策費250万円、酪農生産基盤維持費用1,932万円、堆肥舎等長

寿命化推進事業費1,029万円などとなっています。

費用合計は、4,746万円（計画比36・3％）なり、上期の収支差額は275万円のプラスとなりました。

5. 酪農ヘルパー事業

利用組合員は122戸、総利用日数は1,842・5日で1戸平均15・1日の利用をいただきました。

専任ヘルパー職員は13名で、1名平均128・6日の出役日数となりました。臨時ヘルパー職員11名の出役日数は総利用日数の10・0％に当たる184・5日となりました。

上期収支差額は367万円のプラスとなりました。

6. 牛群検定事業

牛群検定は、月平均108・3戸（計画比51・6％）、検定頭数は、月平均4,870頭（計画比52・6％）となりました。牛群検定事業の差引利益67万円（計画比8,403・8％）となりました。

7. 改良登録事業

上期の血統登録件数は一般、自動を合せて671件、移動・DNA検査・再交付等は96件、上期の件数767件（計画比41・2％）となり

ました。改良登録事業の利益は91万円（計画比34・1％）となりました。

8. 凍結精液事業

精液取扱本数は、8,555本（計画比47・5％）、そのうち乳牛選別精液854本を取り扱いました。凍結精液事業の差引利益は206万円（計画比36・5％）となりました。

9. 診療事業

診療件数は、1,858件（計画比47・6％）でした。差引利益は直売薬品の斡旋等を含め843万円（計画比49・8％）となりました。

10. 受精卵移植事業

受精卵移植事業は、受精卵移植件数189件（計画比47・3％）で、差引利益は受精卵販売等を含め184万円（計画比39・4％）となりました。

11 経理

上期の貸出金残高は、証書貸出金他3,556万円で昨年度同期に比べ939万円減少となりました。
年間利益計画390万円に対し、差引利益63万円（計画比16・2％）となりました。

12. 事業管理費

本年度計画4億8,682万円に対し、2億3,447万円（計画比48・2％）となりました。人件費については、1億8,229万円（計画比48・0％）で推移しています。さらなる経費削減に努めてまいります。



令和7年度「牛乳・乳製品利用料理コンクール岡山県大会」開催

10月18日、「牛乳・乳製品利用料理コンクール岡山県大会（岡山県酪農乳業協会主催）」が、岡山市南区浦安本町（公財）岡山県学校給食会で開催されました。

この料理コンクールは、牛乳・乳製品の消費拡大につなげるため、県下の高校生以上を対象に毎年開催しており、今大会が第46回となります。応募作品数は493点（昨年度436点）でした。

応募作品の中から、9月24日の書



受賞者の皆さんと審査員の先生方

類審査で選出された10名が出席し、1時間の制限時間内で、牛乳・バター・生クリームなどを使い、工夫を凝らした、見た目にもおいしいオリジナル料理を創作されました。

審査は、政本信昭クッキングスクール校長 政本信昭先生、岡山県学校給食会 向井重明先生、岡山県栄養士会 春名美智子先生、岡山県学校栄養士会 杉原京子先生の4名が味や普及性、独創性を基準に行いました。

厳正な審査の結果、最優秀賞は、岡山県立倉敷天城高等学校2年 鈴木勝平太さんの『おいしく栄養チャージ！小松菜のミルキーグラタン』、優秀賞は、岡山県立津山東高等学校1年 鈴木心優さんの『夏野菜のクリームコロッケ風春巻き』が選ばれました。おふたりは、11月15日の中国大会へ出場されます。

（事務局生乳課）
「牛乳・乳製品利用料理コンクール 岡山県大会」受賞者（敬称略）

最優秀賞

・岡山県立倉敷天城高等学校2年

鈴木勝平太

おいしく栄養チャージ！

小松菜のミルキーグラタン

優秀賞

・岡山県立津山東高等学校1年

鈴木 心優

夏野菜の

クリームコロッケ風春巻き

優良賞

・岡山県立瀬戸南高等学校1年

村上 絢音

こうや豆腐のクロックムッシュ

・岡山県立高梁高等学校2年

上石 香怜

みそ仕立ての

クリームシユリンプ

・岡山県立津山高高等学校1年

萩原 美海

そずり肉のビーフストロガノフ

・岡山県立邑久高等学校1年

出射 遥

サバ缶と切り干し大根の

みそクリームスープ

・岡山県立興陽高等学校3年

小林 美月

ミルク洋風お好み焼き

・岡山県立井原高等学校2年

辻本 結月

食パンで作るお手軽ラザニア風

・岡山県立岡山南高等学校1年

廣野 香帆

チーズ入り白玉のお焼き

・岡山県立倉敷中央高等学校1年

岡田 紗空

ごぼう香る

具だくさん和風キッシュ



岡山県立津山東高等学校1年 鈴木 心優さん



岡山県立倉敷天城高等学校2年 鈴木勝平太さん

令和7年度試験研究課題の紹介

岡山県農林水産総合センター 畜産研究所

今年度、畜産研究所で取り組んでいる2課題を紹介します。

○県内未利用資源を有効活用した堆肥化処理技術の検討

堆肥化処理過程において、おがくずは、水分調整を行うために重要な副資材です。しかし近年、木質バイオマス発電の需要増加や住宅建築の減少などによって、おがくずの安定的な入手が困難になってきているため、代替副資材や発酵促進剤を活用した堆肥化処理が求められています。

そこで、小型堆肥化装置（写真1）と野外堆肥化施設（写真2）を用いて、県内で入手可能な繊維くず等の未利用資源がおがくずの代替資材として利用可能であるかを検討しています。



写真1 小型堆肥化装置



写真2 野外堆肥化施設

そして、未利用資源を有効に活用することで、おがくずのみに頼らない堆肥化処理技術を開発し、資源循環型農業を推進します。

○県産飼料をフル活用！おかやま和牛飼養管理技術の確立

近年、輸入飼料価格は高止まりしており、和牛繁殖経営を安定的に継続させるためには、飼料費の削減が喫緊の課題です。

また、県産飼料の有効活用へ向け

た耕畜連携への機運も高まっています。

そこで、稲わらや稲WCS等の県産飼料を活用した低コストな和牛飼養管理技術の確立を目指し、試験に取り組んでいます。

わら類は通常用いられる輸入飼料よりも栄養価で劣るとされています。そこで今回の試験では、わら類を尿素処理することにより飼料成分や消化性の向上を図ります。そして、尿素処理を行ったわら類を給与



写真3 給与試験の様子

した場合の子牛の発育性や母牛の繁殖性を調査し、県産飼料を最大限に活用した給与マニュアルを作成することを目標としています。

以上、今年度取り組んでいる試験研究課題について紹介しました。次号では、乳用育成牛への稲WCS給与試験について紹介します。



ビタミン製品『ゼンラクバースケア』のご紹介

全国酪農業協同組合連合会 大阪支所 購買畜産課 大吞瑠莉花

はじめに

いつも大変お世話になっております。ようやく長い夏が終わったと思ったら一気に寒くなりましたが、いかがお過ごしでしょうか。乳牛を飼養するうえで必ず訪れる「分娩」ですが、分娩前後の母牛へのビタミン給与は充足していますでしょうか。今回は分娩前後に給与するビタミン製品『ゼンラクバースケア』について紹介したいと思います。ビタミンについても記載しておりますのでお手すきの際に見ていただけますと幸いです。

『ゼンラクバースケア』の特長

ビタミンA・D3・E、 β -カロテンをバランスよく大量に補給できる分娩前後用のビタミン製品です。1袋(100g)にビタミンAは500万IU、ビタミンD3は250万IU、ビタミンEは1万mg、 β -カロテンは200mg入っています。特殊乳化処理によりビタミンの腸管から体内への取り込みと肝臓への蓄積性が期待できるため、肝障害により胆汁分泌機能が低下した牛でも吸収しやすい製品です。また、アルミ個包装でかつ微粒カプセル状にコーティングされているため、ビタミンの安定性や保存性が高く、長期保管ができます。製品は100gずつ包装されているため、1回1袋で使い切り、ゴミも少なく済みます。分娩予定日3週間前と分娩直後に1袋ずつを飼料に混合して給与します。



特殊乳化ビタミンについて

ビタミンA・D3・Eは脂溶性ビタミンであり、特殊乳化ビタミンとは本来は水に溶けない脂溶性ビタミンを乳化剤でコーティングし、水になじみやすく加工したものです。脂溶性ビタミンの吸収は通常、肝臓で合成された胆汁（水、油のどちらとも混ざる）が小腸に入り、脂溶性ビタミンと混ざったのち、リンパ管をとおり、肝臓で代謝され、全身へ運ばれます。しかし、分娩後に肝障害が起きている場合、胆汁の分泌ができず、脂溶性ビタミンがうまく吸収できない可能性があります。『ゼンラクバースケア』は特殊乳化処理をしているため、胆汁が無くても血液やリンパ液とうまく混ざることができるため、吸収が可能となります。

各ビタミン、 β -カロテンのはたらき

ビタミンA：上皮組織を正常に保ち、免疫機能を維持する働きがあります。粘膜上皮細胞の表層にはムチンとよばれる粘液の層があり、外部からの病原体の侵入を阻止する物理的バリアとなっています。

ビタミンAは、このムチンの産生を助けます。粘膜は体のあらゆるところに存在します。消化管の粘膜の防御が弱くなれば病原体の侵入を許してしまってお下痢になり、乳腺の粘膜のバリアが弱くなれば乳房炎になってしまいます。

ビタミンD3：腸管からのカルシウムの吸収と血中のカルシウム濃度を調整します。初乳中に多量のカルシウムが分泌されるため、分娩前後の必要量は多くなります。不足し、血中カルシウム濃度が維持できなくなると、乳熱や起立不能になる可能性があります。ビタミンD3は日光浴によって動物の皮膚で作られますが、十分な日光浴ができる環境でない限りは給与する必要があります。

ビタミンE：抗酸化物質として機能するほか、細胞膜の維持、免疫、繁殖機能に関与しています。また、乳の酸化安定性や風味にも関係しています。

β -カロテン：ビタミンAの前駆体としての機能以外にも、 β -カロテン独自の機能を持っています。

牛の「黄体」は文字通り黄色をしています。これは β -カロテンを蓄えているからと言われている。す。す。 β -カロテンは、卵巣における酸化ストレスを緩和させ、黄体細胞での黄体ホルモン分泌を助けます。

分娩前後のビタミン給与の重要性

搾乳牛のビタミン要求量はNASEM2021では体重700kgでビタミンAが95,125IU、ビタミンD3が28,000IU、ビタミンEが568IUとなっております（体重、乳量等により変動します）。牛は胎盤の構造上、免疫グロブリンと同様に、胎児は母牛の体の内でビタミンをもらうことができません。子牛はビタミン



不足の状態で産まれてきます。そのため、初乳からビタミンを摂取する必要があり、初乳中のビタミンAは常乳と比較し10倍、ビタミンD3は3倍、ビタミンEは6倍も含まれています。胎児に与えるだけでなく、母体を分娩から回復させ次の繁殖に備えるためにも、分娩前後はビタミンの要求量が増加します。そこで、この時期に高濃度ビタミン製品を給与し、ビタミン不足を防ぐことで順調な生産につながります。

すこやかパセルとの違いについて

表1はゼンラクバースケア100gとすこやかパセル6粒を比較したものです。暑さが落ち着いた直後の分娩や過肥牛の分娩時には、肝機能が低下しやすくなります。この時期には、ビタミンD3によるカルシウム吸収の促進や、β-カロテンによる卵巣機能の回復が重要です。

分娩前後のビタミン補給には、『ゼンラクバースケア』がおすすめです。

乳化处理されているため水に溶けやすく、味噌湯やアクアチャージと混ぜて給与することも可能です。

	ゼンラクバースケア（1袋：100g）	すこやかパセル（6粒）
ビタミンA	5,000,000IU	4,800,000IU
ビタミンD3	2,500,000IU	240,000IU
ビタミンE	10,000mg	2,400mg
β-カロテン	200mg	○
形状	粉末	カプセル

表1 『ゼンラクバースケア』と『すこやかパセル』の比較

おわりに

最後まで読んでいただき、ありがとうございます。分娩前後の母牛の健康維持に『ゼンラクバースケア』を使用してみてはいかがでしょうか。現在、11月30日納品分までを対象として『ゼンラクバースケア』のキャンペーンを実施しております。気になる点や不明点等ありましたらお近くの全酪連職員へお問い合わせください。今後ともよろしく願いいたします。

分娩前後用ビタミン

ゼンラクバースケア®

牛用混合飼料
規格：100g×10包

ビタミンA
5,000,000IU

ビタミンD₃
2,500,000IU

ビタミンE
10,000mg

β-カロテン
200mg

(100g中)

**分娩前後はビタミンの要求量が
高まります。**

**適正なビタミン給与で
繁殖機能、免疫機能を
維持しましょう！**

9月1日～11月30日
納品
1,700円引き！

ゼンラクバースケア®の特長

- ・ビタミンをバランスよく大量に給与可能！
- ・特殊乳化处理によりビタミンの腸管から体内への取り込みと肝臓への蓄積性◎
- ・肝障害により胆汁分泌機能が低下した牛でも吸収性◎
- ・微粒カプセル状にコーティングされて安定性・保存性◎
- ・使いやすい100gのアルミ個包装

それぞれの働き

ビタミンA	上皮組織を正常に保ち、免疫機能を維持
ビタミンD ₃	カルシウム代謝に関与
ビタミンE	抗酸化物質として繁殖機能の維持
β-カロテン	ビタミンAへの転換

原材料名

ブドウ糖、乳糖、ステビオサイド

給与量と給与方法

分娩予定日の約3週間前と分娩直後に1袋ずつ
飼料に混合して給与

全国酪農畜産協同組合連合会
大阪支所 06-6305-4196
中四国事務所 0868-54-7469

近畿事務所 0794-62-5441
三次事務所 0824-68-2133





寒冷ストレス対策をしよう！

暑い～、異常気象だあ～と、ついこの前まで騒いでいましたが、いつの間にか毛布とこたつにお世話になる季節がやってきました。季節の移り替わりは早いですね。

さて、乳牛は比較的寒さには強く、温暖な気候の岡山県では北海道のような寒冷地対策までは必要ないかもしれませんが、牛も寒いものは寒いんです。

★寒さのストレスはどれくらいから？★

牛の快適気温＝4℃～24℃（特に13℃～18℃が最適）とされています。

寒くなると牛は体温を保つため多くのエネルギーを利用します。本来牛は分厚く密度のある冬毛をまとい寒さに耐えるようになっていきます。しかしその準備には時間を要します。また、耐寒性には牛舎構造や環境も大きく影響し、被毛の状態によりますが、0℃～7℃から始まると言われています。

冬の初めに気温が急激に低下した場合、被毛の準備が間に合わずダメージを受ける場合があります。

気温が0℃以下までに低下すると、いくつかの生理的变化が起きる

- ・牛が体温を必要とする維持エネルギー量が10%以上増加
- ・食欲が促され、飼料をもっと食べようとし乾物摂取量が5～10%増加
- ・水が冷たいと飲水量は減少

⇒摂取エネルギーが体温の維持に利用されたり、飲水量が減少すると最終的に平均乳量は低下

しかし、驚くべきことに、乳牛は外気温が－5℃になっても乳量を維持し続けます。これは、体温や乳量を維持するために体重を落としている（体脂肪の導引）ことを表しています。

寒冷ストレスは、牛が周囲の低温により体温維持に余計なエネルギーを消費する状態。下臨界温度（LCT：Lower Critical Temperature）を基準に対策を打ちましょう。LCTより気温が低くなるほど、維持に必要な代謝量が上がりその分だけ飼料からのエネルギーが必要となります。

区 分	LCTの目安	備 考
新生子牛～1カ月齢	約15℃	風速や湿度により変化
子牛（1カ月齢～離乳）	約1～10℃	年齢により変化
育成～泌乳牛（BCS良好）	約－5～－25℃	給餌量、BCSで変動
乾乳・妊娠後期・低BCS牛	約－10～5℃	管理上特に注意が必要

※あくまでも寒冷ストレスを受ける目安であり、地域や個体差がある

★代謝や乳生産への影響★

外気温	維持エネルギー	乾物摂取量	飲水量	日乳量
10℃	100	100	100	100
5℃	103	100	100	100
0℃	110	101	96	100
－5℃	118	106	94	100
－10℃	126	109	87	93
－15℃	133	111	82	80

※平穏時を100%としたときの、寒冷ストレスの泌乳牛の要求量及び生産成績

★寒冷ストレス下で生産性を保つ管理のポイント★

1. 牛床の管理

- ・牛の冬毛は寒さに対する最初の防御機能
⇒牛床を清潔に清掃し乾燥した牛体を保つ



2. 換気の確保

- ・牛の体温が奪われない程度の換気を保ち、新鮮な空気を常に吸えることが重要
⇒二酸化炭素やアンモニアガスを排出させ肺炎や乳房炎の予防（免疫力低下防止）

3. 飼料の調整

- ・サイレージの乾物率を継続的に頻度よく分析
⇒乾物率に基づいて飼料計算することによって粗濃比のバランスを確実に保つ
通常より乾物摂取量を増加させる
⇒BCSや乳たんぱく率の減少は十分なエネルギーを摂取できていないことを示す
⇒越冬飼料への変化や飼料摂取量の急劇的な増加は消化ストレスを与えるため、機能が証明されているルーメン酵母の給与がおすすめ
- ・乳量を維持するためには飲水量を確保することが重要
⇒ウォーターカップや水槽が凍っていないか、飲用水が清潔に保たれるよう清掃や水の入替えはできているか
⇒牛の好む水温は17℃～28℃とされている
冷たい水は第1胃の微生物の活動を妨げ発酵を遅らせ、下痢の原因にもなる
特に寒い冬場は体温と同程度の39℃前後まで加温するのが理想。10℃以下の水は飲水量の低下を招き乳生産の低下を招く

4. 保温対策

- ・隙間風の防止、牛舎内の保温、ヒーターやカーフジャケットの使用など牛が寒さから守られるよう保温対策が必要となる

5. 環境の改善

- ・牛舎の構造や環境を改善し、牛が快適に過ごせるようにする
- ・風速は体感温度を大きく下げため、直風を当てない
- ・換気し牛舎内や牛体を乾燥させる（換気は結露対策にも有効）

6. ベッディング（敷料）の管理

- ・乾いた敷料は有効な断熱材となるため敷料の厚みを増やし濡れたら速やかに交換する運用ルーティーンを構築する

7. 管理と記録（モニタリング）

- ・日々のBCS記録、乳量トラッキング、気温・湿度を計測し、閾値を超えたらアラートが出る体制を作ると対応が早くできる

★子牛（新生子牛）の特別対策★

- ・子牛の下臨界温度は高く、新生児では15℃前後がLCTの目安となります。
- ・保温器・カーフジャケット：体温保持を優先し、保温器具やジャケットを利用
- ・寝床の保温：パレットや断熱シート、乾いた厚めの敷料を入れる
- ・給餌の増量：室温が低下した場合、ミルクやスターターの量を微増させるのが有効
- ・通気：換気は必要だが直接風が当たらないように工夫

まとめ

- ☆寒冷ストレスは「LCT（下臨界温度）」を基に判断し、有効温度が下がるほど追加エネルギーが必要
- ☆子牛は特に脆弱で、新生児は約15℃前後で保温対策が必要
- ☆現場対策の優先順位は「風よけ・乾燥敷料・給水の凍結防止・飼料のエネルギー密度向上」
- ☆目安としてLCT以下1度ごとに追加TDNは約1%を想定し段階的に飼料を増やす
- ☆敷料管理と換気の両立で結露を防ぎ、疾病リスクを下げる
- ☆簡易コスト試算では追加飼料費、敷料費、加温費を考慮し、乳量回復や疾病減少で数ヶ月以内に回収できる可能性あり
- ☆毎日のBCS、乳量、環境データを記録し、閾値超過時に即対応するモニタリング体制が重要

（参考資料）

酪農における寒冷ストレスガイド

（事業本部）

第44回勝央町金時祭

10月12日、「第44回勝央町金時祭」が勝央文化ホール周辺で開催されました。

金時祭のいわれは、童謡の「金太郎」のモデルとされる「坂田金時」が、岡山県勝央町で生涯を閉じたことに由来しています。勝央町では、坂田金時の終焉の地として、その功績を称え、産業振興と地域活性化を目的に「金時祭」を開催しています。

勝央町酪農組合では例年通り、1,600本の牛串を販売し、勝央町酪農女性部ではポップコーン販売

と牛乳のプレゼントをしました。昼には、完売するほどの大盛況でした。そして、模擬牛の「ミルキー」による搾乳体験も実施し、お祭り終了まで子どもたちに囲まれて大盛り上がりでした。

このようなイベントを通じて、生産者が消費者に「酪農」をアピールできることは、大変素晴らしい意義のある活動であると思いました。今後もこのような交流の場を大切にしていきたいです。

(勝央町酪農組合・勝央町女性部)

びほく地区フレッシュミズ交流会

10月22日、「びほく地区フレッシュミズ交流会」を開催しました。

今回は、高梁市内の『雲白（くもじろ）』というお店で、美味しいお豆腐料理をいただきながら交流を深めました。

びほく地区のフレッシュミズ会員は全員で4名と少ないのですが、年齢が近いこともあり共通の話題も多く、子どものこと、自身の悩み、たまに夫の愚痴（笑）などなど、話が尽きることなく時間が過ぎ…とうとうお店も追い出され、2軒目に移動（笑）その後話が尽きることもな

く、和やかな雰囲気の中で盛り上がっていました。

束の間の時間でしたが、仲間と集まり、語り合い、笑い合えた交流会、「さっ。また帰って頑張ろう!!」と前向きに、笑顔で解散しました。

日頃から忙しくされている奥様方にとっては、心身ともにリフレッシュできたのではないのでしょうか？ご参加くださった皆様、ありがとうございました。

今後もしつかり活動を続けていきたいと思しますので、よろしくお願ひいたします。(びほく事務所)



お豆腐料理はカロリーゼロ!?



勝央町内の幼稚園生の行列

美星ふるさと祭り

10月26日、「第41回美星ふるさと祭り」が星の郷ふれあいセンターで開催されました。美星の酪農家3戸で、昨年に引き続きのイベント参加となりました。

酪農のブースでは、牛乳プラス運動で丈夫な骨を作ろうという牛乳の機能性を伝えるチラシと牛乳を配布して、来場者に牛乳の消費拡大とイメージ向上を訴えました。

天候が心配されましたが、イベント開始時点までには雨が止んだので、多数の来場者にお越しいただきました。酪農家の皆様やそのご家族にお手伝いいただき、盛況に終わることができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

(備南事務所)



牛乳を配布

♡ご結婚♡ おめでとう

(一財)おからく教育振興会



藤本 春香さん

(備南地区 三宅安史氏

後継者)

藤本 輝正さん

お二人は令和7年7月7

日に入籍されました。

今後ますますのご活躍と

末永いお幸せをお祈りいた

します。

おめでとうございます。

理事 会 報 告

9月29日、第305回理事会を理事9名、監事3名が出席し、開催した。

檜尾組合長より酪農一般情勢等について報告された。

その後、次の事項を協議し、決定した。

○令和7年度生乳需給安定化対策について

令和7年度8月の生乳需給安定化対策の進捗状況等について報告した。

○就学資金交付規程について

就学資金交付規程について、顧問弁護士より労基法に抵触する恐れが

人 事

採用

(令和7年11月1日付)

光宗 憲一(総務部 総務経理課)

(臨時職員)



ひろば

私の趣味の二つ！

生乳課 妹尾 明美

唐突ですが、レカンフラワーってご存じでしょうか？レカンは、フランス語で『宝石箱』を意味する言葉です。

生花を自然な立体感のまま、色や形を保つように乾燥剤で乾燥させ、密封技術により額やボトルなどにに入れて飾るフラワーアレンジメントの一種です。

レカンは、花の美しさを長時間楽しむことができる『花の宝石箱』と言われるています。

水分と人工的な着色液をすり替える、半永久に楽しむことができるのがプリザーブドフラワー。

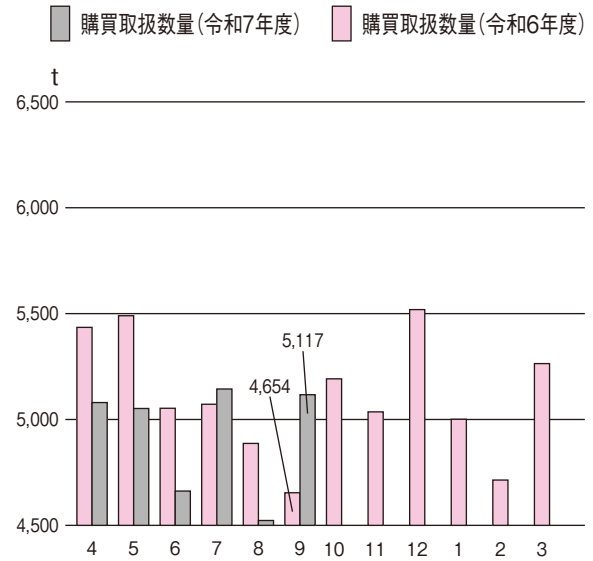
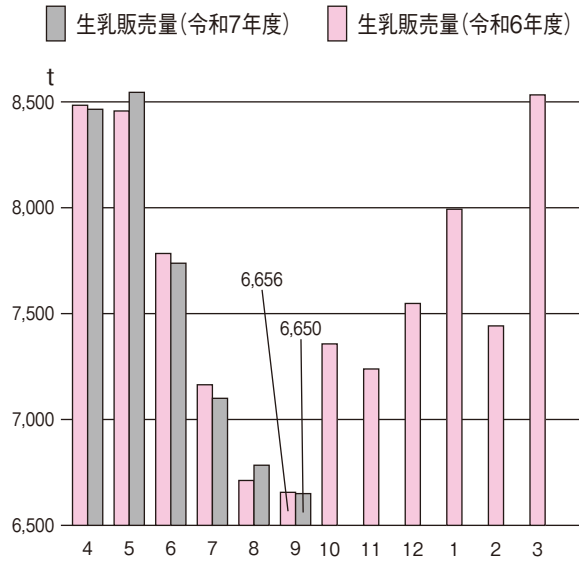
レカンフラワーは、プリザーブドフラワーとは異なり、立体的な形状と生花に近い鮮やかな色のまま残せるのが特徴です。14年ほど前、娘の同級生のお母さんのアトリエでレカンフラワーに出



会い、そこから作品作りを始めました。年に一度、岡山で発表会があり、作品展示に出品したこともあります。花に興味がある人は、ぜひ一度、作品作りに挑戦してみたいかがでしょうか。



おからく事業実績



生乳統計

※中央酪農会議速報より抜粋

地域	月	受託乳量(トン)	用途別処理量(トン)			前年比(%)			
			飲用乳等向け	乳製品等向け	その他	受託	飲用	乳製品	その他
全国	9	538,255	290,198	111,535	136,522	100.6	99.7	101.6	101.2
	4～9	3,463,855	1,693,530	908,388	861,905	101.4	99.3	106.4	100.3
岡山県	9	6,650	6,522	63	65	99.9	100.1	91.3	92.9
	4～9	45,283	42,227	2,473	583	100.1	99.1	115.6	115.2
北海道	9	322,038	83,285	106,340	136,350	101.1	99.5	102.2	100.0



主な行事

11月

- 1日 おかやまミルクフェア2025
- 6日 定例監事監査(～7日)
- 11日 業務委員会
- 12日 総務委員会
- 13日 酪友フォーラム(～14日)
- 21日 管理職会議
- 28日 理事会

12月

- 1日 会計実施検査(～5日)
- 8日 女性部全体交流会
- 11日 女性部フレッシュミズ視察研修
- 19日 管理職会議
- 25日 理事会
- 29日 仕事納め

北海道初妊牛価格

10月については、通常の回転需要に暑熱事故の代替え需要が一定程度見られたものの、資源が若干増加傾向にあったなか、前月からの値上がりに対する様子見感から、初妊牛平均価格は税込60万2千円(前月比2万5千円安・前年比16万5千円高)と値下げ傾向に推移しました。

11月については、乳用牛に対する人工授精統計から来春の資源減少が見込まれるなか、回転需要に加え春分娩の早期手配の動き等により、初妊牛相場は、強含みでの価格展開が予測されます。